

0. 講義をはじめるとの注意

講義の時間帯：月曜日 1 時限（08:40～10:10）

対面授業を実施する際の場所：講義棟 2 号館・大ホール（予定）

注）05/25 以降は、対面授業で実施する予定

▽講義担当者の予定

05/11	辻原（地域環境調整工学 担当）
05/18, 05/25, 06/01, 06/08	北原昭男先生（木質構造学 担当, とりまとめ役）
06/15, 06/22, 06/29, 07/06	鄭一止先生（都市計画学 担当）
07/13, 07/20, 07/27, 08/03	佐藤哲先生（建築計画学 担当）（08/03 はテスト期間中ですが、授業を実施する予定）

注1）上記の担当者と日程は、現時点での予定です。今後の新型コロナウイルスの状況次第では、変更になる可能性もありますので、注意してください。

注2）この科目は、**他の科目と異なり**、オムニバス形式（1人ではなく、4人での分担）で行われます。それぞれの教員ごとに行った評価を集計したものが最終評価になると思われるので、履修の際には十分注意してください。試験の実施時期やレポートの提出や成績の評価については、各教員の指示に従ってください。

注3）授業の形式（遠隔授業（インターネットなどを活用した授業）、もしくは対面授業（普通に教室で行う授業））については、大学と担当教員の指示に従ってください。

辻原担当分についての質問などは、下記の担当者まで

教授・辻原万規彦

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）4階南西角

電話：096-321-6706（直通）、もしくは 383-2929（内線 492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

辻原が不在の際は、下記まで

研究室助手・岡本孝美

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）3階南西角・田中研究室／4階中央・岡本助手室

電話：096-383-2929（内線 482（助手室）／内線 475（田中研究室））

e-mail：okamoto@pu-kumamoto.ac.jp

1. 居住環境へのアプローチ

(1) 「居住環境」とは何？

「居住環境」と聞くと、どんなイメージをもつだろうか？

→自分なりの考えを書き出してみよう！

※「居住環境学専攻」と

「環境資源学専攻」と「食健康環境学専攻」には、どのような関係がありそうだろうか？

→自分なりの考えを書き出してみよう！

（2）辻原の考える居住環境

居住環境＝私たちの意識や行動に何らかの作用を及ぼすと同時に、私たちの意識や行動によって何らかの作用を及ぼされている、_____や私たちの_____をとりまく_____のこと

→下の図2を参照

（3）「居住環境」を、どう理解すればよいか？

- ・「居住環境」の中身を、もう少し細かく見ると、どうなるだろうか？
- ・「居住環境」の中身を、小さく分割すれば、何とか理解できないだろうか？

→大きすぎて理解しにくい時は、わかるところまで（知っているところまで）細かく分割してみるという方法は意外に便利

（4）私たちを取り巻く「環境」をどのように捉えるか？（分けられるか？）（図1を参照）

- ┌—社会環境＝_____と_____の_____作用（人間の気持ち、心理、意識など）
- └—物理的環境＝人間と_____との相互作用（____（_____），____（+_____），
| _____，_____など）
- └—└_____環境
- └—人間が手を加えた_____環境

※構築環境：自然環境に人為的な造成を加えて作り出された環境

→環境には多様な面がある！多様な捉え方がある！

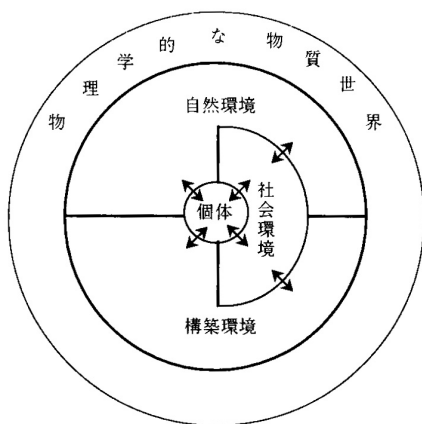


図2 環境の概念図

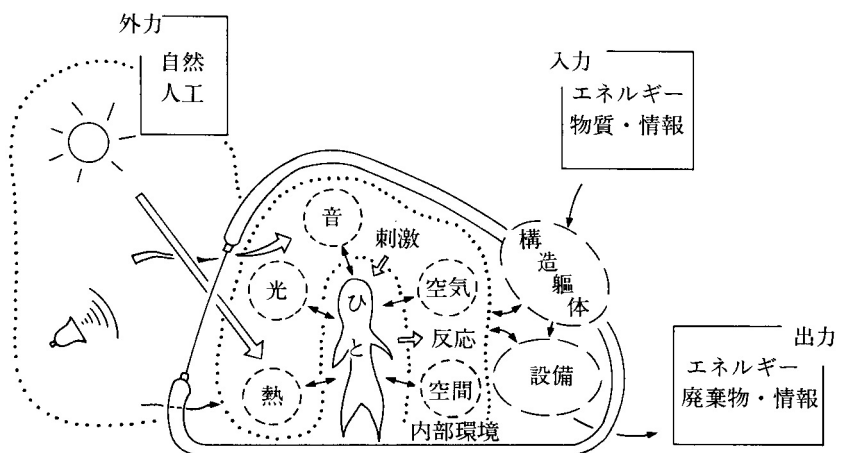


図3 住まいを中心とする環境と人間の相互作用

⇒別の捉え方をすれば、次のようにも分けられる

┌— _____ スケールの違い（身体のまわり，部屋，住まい，町内，都市，地域・・・）
| ※特に住まいの内部（ _____ 環境）と住まいの外部（ _____ 環境）に区別する
| ことが多い。
|
└— _____ レンジの違い（ある瞬間，1日，1週間，1年，数年，生涯・・・）
※連続的で均質な等間隔目盛りの _____ な時間の概念と私たちの感じる
（ _____ する）時間の概念は異なる。

最後に、もう一つ考えて欲しいこと！

⇨われわれを取り巻く環境は、本当によい環境なのか？

例えば、皆さんの自宅の居室は、居心地がよくて、満足しているから、よい環境なのだろうか？

「現状の環境に満足している」＝「現状の環境はよい」と言っても良いのか？

よい環境を知らないから、現状に満足しているだけなのかもしれないのではないか？

2. レポート・論文の書き方

レポートは、人に読んでもらうためのものです。従って、自分で何を書いているのかわからないようなレポートは提出しないでください。レポートには必ず「読む人」がいます。レポートの評価を行うのは、「読む人」です。書き手が評価を行うものではありません。

まず、第一に、「読む人」に理解してもらえるように、わかるように、書くことを心がけてください。

→さらに一步踏み込んで、「読む人」を納得させるためには、どのようなレポートを書けばいいのか、を考えてレポートを作成するように心がけてください。

→→レポートは、高校までの（読書）感想文とは違います。主観的な文章ではなく、客観的に筋道が示されている文章にしましょう。

※まずは、（パソコンを使って）長い目の文章を書く練習から始めましょう。

『文字を読む。文字を書く。』状態から、『文章を読む。文章を書く。』状態へ
社会に出る前に、しっかり身につけましょう！！

熊本県立大学 学術情報メディアセンター 図書館

(<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~tosho/index-j.html>) の『蔵書検索』で、「論文作法」をキーワードとして検索すると、論文やレポートを書く際に参考となる様々な本がでてきますので、参考にしてください。

→図書館の1階の展示コーナーである「就活・レポート作成・大学生活応援コーナー」の一部に「レポート入門編」と「レポート・卒論」の棚があります。是非参考にしてください。

熊本県立大学 学術情報メディアセンター 図書館に所蔵されている本や辻原の知っている範囲では、例えば、以下のような本を、読んでみては如何でしょうか。

【入門編-学生生活の基本と共に】

- 1) 『スタディスキルズ・トレーニング 大学で学ぶための25のスキル[改訂版]』（吉原恵子・間渕泰直・富江英俊・小針誠，実教出版，2017年9月，1,200円＋税，ISBN：978-4-407-34061-7）〔就活・レポート（1F），377.15||Y 87，0000379748〕
→初版（2011年発行）は〔就活・レポート（1F），377.15||Y 87，0000342518〕
- 2) 『レポート論文のStart Line 書ける自分を作る』（居駒永幸・畑中基紀・岡崎直也・斎藤静隆・永野宏志編，おうふう，2012年10月，1,500円＋税，ISBN：978-4-273-03706-2）〔就活・レポート（1F），816.5||I 37，0000371521〕
- 3) 『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ 第5版』（学習技術研究会編著，くろしお出版，2019年4月，1,800円＋税，ISBN：978-4-87424-789-1）〔就活・レポート（1F），377.15||G 16，0000383251〕
→第4版は（2015年発行）は〔和書（2F），377.15||G 16，0000375698〕
→第3版は（2011年発行）は〔和書（2F），377.15||G 16，0000350312〕
→改訂版第4刷（2008年発行）は〔和書（2F），377.15||G 16，0000327677〕
→改訂版（2006年発行）は〔和書（2F），377.15||G 16，0000311457〕
→初版（2002年発行）は〔和書（2F），377.15||G 16，0000261688〕〔書庫（4F），377.15||G 16，0000261864〕
- 4) 『広げる知の世界 大学でのまなびのレッスン』（北尾謙治ほか，ひつじ書房，2005年5月，1,600円＋税，ISBN：4-89476-242-0）〔和書（2F），377.15||Ki 71，0000293704〕
- 5) 『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法 改訂第2版』（松本茂・河野哲也，玉川大学出版部，2015年3月，1,500円＋税，ISBN：978-4-472-40513-6）〔シラバス文学（3F），002.7||Ma 81，0000366076〕
→初版（2007年発行）は〔和書（2F），002.7||Ma 81，0000309779〕
- 6) 『情報と知識の海-現代を航海するための 知のナビゲーター』（中澤務・森貴史・本村康

哲編, くろしお出版, 2007年4月, 1,800円+税, ISBN:4-87424-372-5) [和書(2F), 377.15||N46, 0000309780]

- 7) 『理系学部に合格ったら読む本』(井手弘人・内藤克浩・根本泰雄, 化学同人, 2007年5月, 1,200円+税, ISBN:978-4-7598-1097-4) [和書(2F), 377.9||I19, 0000309778] [書庫(4F), 377.9||I19, 0000306485]

【基礎編-1年生からのレポート作成のために】

- 8) 『講談社現代新書 2498 最新版 大学生のためのレポート・論文術』(小笠原喜康, 講談社, 2018年10月, 800円+税, ISBN:978-4-06-513502-0) [就活・レポート(1F), 080||49||2498, 0000381010]

→新版(講談社現代新書2021, 2009年発行)は[書庫(4F), 080||49||2021, 0000374791]

→初版(講談社現代新書1603, 2002年発行)は[書庫(4F), 080||49||1603, 0000259322]

- 9) 『レポート・論文・プレゼン スキルズ レポート・論文執筆の基礎とプレゼンテーション』(石坂春秋, くろしお出版, 2003年3月, 1,400円+税, ISBN:4-87424-273-1) [和書(3F), 816.5, 9000006625]

- 10) 『Wordを使った 大学生のための論文作成術 思考技術・情報処理技術を書く力へ』(佐良木昌, 明石書店, 2004年10月, 1,600円+税, ISBN:4-7503-1983-X) [就活・レポート(1F), 816.5||Sa69, 0000290926]

- 11) 『レポート・論文の書き方入門 [第4版]』((河野哲也, 慶應義塾大学出版会, 2018年7月, 1,000円+税, ISBN:4-7664-2527-7) [就活・レポート(1F), 816.5||Ko76, 0000380975]
→第3版(2002年発行)は[書庫(4F), 816.5||Ko76, 0000285910]
→改訂版(1998年発行)は[書庫(4F), 816.5||Ko76, 0000252694]
→初版(1997年発行)は[書庫(4F), 816.5, 9000002010]

【応用編-4年生での卒業論文も視野入れて】

- 12) 『平凡社新書 103 ぎりぎり合格への論文マニュアル』(山内志朗, 平凡社, 2001年9月, 700円+税, ISBN:4-582-85103-7) [文庫本(3F), 080||H51||103, 0000275301, 0000270456]

- 13) 『NHK ブックス 1194 新版 論文の教室 レポートから卒論まで』(戸田山和久, NHK出版, 2012年8月, 1,200円+税, ISBN:978-4-14-091194-5) [和書(3F), 816.5||To17, 0000352921]
→初版(NHKブックス954, 2002年発行)は[書庫(4F), 816.5||To17, 0000276644]

- 14) 『大学生と大学院生のための レポート・論文の書き方 第2版』(吉田健正, ナカニシヤ出版, 2004年4月, 1,500円+税, ISBN:4-88848-868-1) [就活・レポート(1F), 816.5||Y86, 0000312379]

→初版(1997年発行)は[和書(3F), 816.5||Y86, 0000263004]

- 15) 『これからレポート・卒論を書く若者のために 第2版』(酒井聡樹, 共立出版, 2017年7月, 1,800円+税, ISBN:978-4-320-00598-3) [就活・レポート(1F), 816.5||Sa 29, 0000376640]
→初版(2007年発行)は[書庫(4F), 816.5||Sa 29, 0000309758]
- 16) 『建築系学生のための卒業論文の書き方』(山口廣・笠井芳夫・浅野平八, 井上書院, 2008年4月, 1,800円+税, ISBN:978-4-7530-1056-1) [和書(2F), 520.7||Y 24, 0000317372]
- 17) 『論文はデザインだ!』(渡邊研司, 彰国社, 2008年5月, 1,905円+税, ISBN:978-4-395-24107-1) [和書(2F), 520.7||W 46, 0000317373] [書庫(4F), 520.7||W 46, 0000314903]

上記の全てに目を通す必要は全くありませんが、気に入ったものを1冊くらい手元に置いておくとよいと思います。

その他にも、いろいろな本がありますので、新型コロナウイルス感染症に十分注意をして、大学の売店(丸善)や下記の本屋などで探してみてください。

- 1) 紀伊國屋書店 熊本光の森店(営業時間:10:00～22:00, 年中無休)
〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森7-33-1 ゆめタウン光の森内2F
電話:096-233-1700 FAX:096-233-1701
<https://www.kinokuniya.co.jp/c/store/Kumamoto-Hikari-no-Mori-Store/>
- 2) 紀伊國屋書店 熊本はません店(営業時間:10:00～22:00, 年中無休)
〒862-0965 熊本市南区田井島1-2-1 ゆめタウンはません3F
電話:096-377-1330 FAX:096-377-1339
<https://www.kinokuniya.co.jp/c/store/Kumamoto-Hamasen-Store/>
- 3) 蔦屋書店 熊本三年坂(営業時間:09:00～深夜01:00, 元日店休)
〒860-0801 熊本市中央区安政町1-2
電話:096-212-9111 FAX:096-212-9890
<http://store-tsutaya.tsite.jp/storelocator/detail/8000.html>
- 4) 熊本大学生協の学生会館ショップ書籍・雑誌コーナー(営業時間:8:10～19:00(土日祝休み))
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1
電話:096-343-6321 FAX:096-345-8239
<http://ha9.seikyoku.ne.jp/home/kumamoto-u/index.html>
→生活協同組合熊本インターカレッジコープアカデミアも参照
→→<http://kyushu.seikyoku.ne.jp/in-km/>

また、下記のホームページなどが参考になるかもしれません。その他に、自分でも、「レポート」、「書き方」などのキーワードで検索してみてください。大量に検索できるはずですよ。

- ・佐賀大学附属図書館 > 探し方サポート > レポート・論文の書き方
<http://www.lib.saga-u.ac.jp/guide/report/>
- ・法政大学図書館 > 調べる・探す > お役立ちサポート > レポート・論文を書くには
<https://www.hosei.ac.jp/library/kensaku/support/report/>
- ・兵庫教育大学 学校教育研究センター 論文の書き方
http://www.ceser.hyogo-u.ac.jp/naritas/write_paper/paper.html
- ・南山大学 うらかみのホームページ 授業に関するものなど
<http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/~urakami/class.html>
- ・岐阜大学 森林生態学研究室 大学生のための情報リテラシー（旧版のPDFファイルが試読できる）
<http://www1.gifu-u.ac.jp/~shogo/informationliteracy/index.html>
- ・駒沢在学 中済光昭（先生） レポートの書き方
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakasumi/reportp.htm>
- ・日本女子大学 情報を活用したレポートの構成・作成法
<http://mcn-www.jwu.ac.jp/~kuto/Writing/HowToWrite.html>

- ・卒論・レポートの書き方・ポータルサイト
<http://www.mycon10ts.net>
- ・小論文の書き方・レポートの書き方
<http://www.shouronbun.com/>
- ・大学レポート・論文の書き方
<http://www.report.gusoku.net/>
- ・ハッピーキャンパス←教員としてはちょっとお薦めし難い
<http://www.happycampus.co.jp>
- ・大学生はこれを見ろ←これもどうかなと思いますが
<http://daikore.com/report/>
- ・Campus Magazine
<http://magazine.campus-web.jp/archives/210744>

注) これらのサイトの内容については、自分の責任で確認してください。辻原自身が全ての内容を確認したわけではありません。

3. 今日の課題

課題：

配付資料4ページの真ん中に書いてある

われわれを取り巻く環境は、本当に良い環境なのか？

「現状の環境に満足している」＝「現状の環境は良い」と言っても良いのか？

良い環境を知らないから、現状に満足しているだけなのかもしれないのではないか？

について、自分なりに考えたことを書いてください。

分量や書式：

A4判の紙に1枚以内。パソコンで書いても結構です。鉛筆やペンでレポート用紙に書いても結構です。ただし、自分の専攻、学籍番号、名前を記入してください。

締切：

できるだけ、05月15日（金）までに、辻原の手元に届くように提出してください。締切に遅れても、受け取ることはしますが、多少は減点する可能性があります。

課題の提出先：

①下記の宛先まで郵送してください。なお、郵送料金は各自で負担してください（着払いにした場合は、受け取れないこともあります）。課題について自分が考えたことを書いたA4判の紙を1枚だけ、入れて送ってください。手書きの文章を送ることも可能です。

※皆さんが高校時代に使っていたノートの多くはB5判です。「A4判」での提出をお願いします。

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1-100

熊本県立大学 環境共生学部 居住環境学専攻

辻原 万規彦

②もしも、①の方法が難しいときには、Microsoft Teams上で提出してください。この場合は、Microsoft Wordファイルでの提出になりますので、手書きの文書の提出はできません。

③①と②の両方の方法が難しいときは、辻原までメールで相談してください。

※スマートフォンで撮影した画像（自分で書いた文章を撮影した画像）を送ることはやめてください。課題提出後の整理ができなくなります。